新校訓「自分らしく…　輝く、つながる、ふみ出す」に寄せて

昨年度、平成から令和と元号が変わり、今年度から小学部で新学習指導要領の実施がいよいよスタートしました。そして来年度には開校 50 年目を迎えます。（50 周年記念式典は満 50 年の令和４年度に実施の予定です。）このような大きな節目に当たり、本校に求められるものを改めて考えこれからの本校の在り方を考える機会を得て、子どもたち一人一人の実態と教育的ニーズに対応した本校の役割を全職員が理解し、カリキュラム・マネジメントを進めていく土台としてグランドデザインを作成しました。（「本校の教育目標」を御確認下さい。）

中でも、校訓は在学中様々な学びの場面で子どもたちに指し示す方向性です。今を生きる本校のすべての子どもたちに向けて、受け止めやすい言葉を考えました。そしてできることなら、卒業後にも様々な場面で「心の杖」として子どもたちを励まし続けてくれる言葉であるようにと思い、職員からも意見を集めて考えました。

そうして生まれた新たな校訓が「自分らしく…　輝く、つながる、ふみ出す」です。

「輝く」に込められた思い

どの子も必ず「よさ」を持っています。その「よさ」を見つけたり伸ばしたりしてほしいと思います。自分のできること、得意なこと、良いところを存分に発揮して活動したり、目標に向かって頑張ったり、達成感を味わったりしている時、人はキラキラと輝いています。誰もが一つずつ与えられた命を、輝かせて生きていきたいと願っています。様々な病気と付き合いながらの毎日ですが、精一杯日々を味わってほしいと願います。

無理をして頑張りすぎなくても良いし、人と比べて自分のことをダメだと思わなくても良いので、自分らしく、自分の色で、自分の大きさで輝いていていることが大事です。ことさらに「自分らしさって何だろう」と悩む必要はありません。自分のペースで、自分の気持ちを大切にしながら進むこと、それが「自分らしく…」です。

「つながる」に込められた思い

この世は、助けたり助けられたり。人と人とが何かしら関係しながら社会を成り立たせています。人間は一人では生きていけないのです。ですから、自分のできる方法で人とつながりましょう。自分が苦手なことを手伝ってもらったり、SOS を出したりしながら、社会の中で生きていく力をつけてほしいと思います。人間関係には面倒なこともつきものですが、心はだれかとのつながりを求め、つながりによって温められ、感動を共有することができます。

でも、これも自分のできる方法を見つけながら、一歩一歩で良いのです。

「ふみ出す」に込められた思い

学校は、社会に出ていくための様々な練習をする場です。ですから、失敗もたくさんあるでしょう。「失敗の中に学びがあれば成功だ！」と言った人がいました。試行錯誤でやってみて「最適解」を見いだしていく…そんな体験をたくさん積み重ねてほしいと思います。せっかくの学校生活、様々なことにチャレンジしてほしいのです。結果はどうあれ、チャレンジをした事実は、必ずあなたの大きな力になります。

小さなことでも良いので、昨日より今日、今日より明日と過去の自分を超えていくために、一歩ふみ出しましょう。あなたの中にはすでに、前にふみ出す力があり、自ら成長しようとしています。安心してチャレンジしてください。あなたの周りでたくさんの応援団が見守っていますよ。

私たち黒石原支援学校職員は、本校の子どもたち一人一人が輝き、人とつながる力をつけ、安心してチャレンジし成長することを、全力で応援してまいります。（下記に校訓の画像を載せています。校訓は、各教室にも掲示しています。）

校訓

自分らしく

